

② 保育園・幼稚園・小学校の連続性を考慮した保育・教育

連続性を考慮した保育・教育

保育園・幼稚園・小学校の合同研修を行い、保育や教育に関わる職員の資質向上や相互理解を図っています。また、保育士や小学校教諭などからなる「保幼小連携研究班」を設置し、子どもたちにとってより良い連携の仕方を研究しています。特に、年長児から小学校1年生にかけての発達過程において、身につけておきたいことを「接続期のカリキュラム」としてまとめ、保幼小の共通理解に努めています。

このほか、園児たちが小学校を訪れ、生活科の授業や行事などに参加する交流会も行っています。この取り組みによって、入学した子どもたちは学校生活にスムーズになじみ、楽しく集団生活を送ったり、授業に集中して臨んだりすることができています。



1月28日、文化会館で保幼小連携研究班の実践発表やグループ協議を行いました

保幼小連携の取り組み

☆ 太田保育園で太田小学校の校長先生と懇談

昨年11月14日、太田小学校の藤澤都校長先生が太田保育園を訪れ、同保育園に通っている子どもたちの保護者の皆さんと、就学についての懇談を行いました。

藤澤先生は、就学前に取り組めることとして、「子どもが今一番興味を持っていることについて書かれた本を、読み聞かせしよう。そうすれば字を覚え、書けるようになります。お風呂に入りながら、しりとりをしたり数を数えたりするのも効果的」顔を向け



昨年4月、八幡小学校の授業参観に、保育士の皆さんも参加しました

て子どもの話を聞きましよう。聞き方名人の親は聞き方上手な子を育てます」などとアドバイス。参加した保護者の皆さんからは「学校生活で心配だった事が質問できてよかった」「すぐに実践します」などの声が聞かれました。

☆ 職員の授業・保育参観

毎年4月から7月ごろ、保育園・幼稚園の職員は小学校の授業参観に、小学校の職員は保育園や幼稚園の保育参観に参加しています。

本年度、小学校の授業を見た保育園・幼稚園の職員からは「就学



昨年10月にゆもと幼稚園で行った給食指導参観の様子

前に何を身につけさせればよいか分かった」などの声が、保育園・幼稚園を参観した小学校の職員からは「4・5歳の子どものための、話を聞く姿勢ができていて感心した」などの声が聞かれました。

☆ 職員の給食指導参観

小学校に入ると、給食の量や食べる時間が変わってきます。給食についても、保育園・幼稚園の職員と小学校の職員が、参観を通して共通理解を深めています。

本年度、小学校給食を参観した保育園・幼稚園の職員からは「量を調節するなどして、無理なく時間内に食べられるよう配慮されていたのが良い」などの声が、保育園・幼稚園の給食を参観した小学校の職員からは「小学校では、量もやり方も園とは違うことが分かった」などの声が聞かれました。

保育士が不足しています

核家族化や就労形態の多様化に伴い、保育園に入る子どもも低年齢化が進み、延長保育の需要なども増えてきています。

市では、このような保育形態の多様化が進む中、臨時の保育士を採用して対応していますが、現在、保育士が不足しています。平成25年度の臨時保育士を次のとおり募集しますので、お手伝いをしていただける方は、

ぜひご応募ください。勤務時間などは、相談に応じます。

〔平成25年度臨時保育士の応募要件〕

- 年齢・学歴：問いません
 - 必要な資格：保育士資格
 - その他：健康で意欲のある方
- ※勤務条件など詳しくは、教育委員会就学養育課(☎45・13

11内線344)へ

保幼小連携の取り組み結果

保育園・幼稚園・小学校が連携を取りながら就学前の教育に力を入れることで、小学校に入学して子どもたちにはどのような変化が見られるでしょうか。

桜台小学校の藤田俊男校長先生は「人の話をしっかりと聞けるようになってきています。入学式での子どもたちは、話を聞く姿勢が大変立派でした。また、約束やルールを守ることがしっかり身についています。このような子どもたちが入学してくることで、学校全体が良くなることを期待します」と話しています。



漢字の書き順を熱心に練習する桜台小学校1年生の皆さん

③ 地域における

子育て支援体制の充実

地域の子育て支援の拠点である保育園・幼稚園では、園に通っていない子どもへの園舎・園庭の開放や、中学生・高校生の保育体験、保育実習生の受け入れをしています。

また、市内6カ所で開設している「地域子育て支援センター」では、就学前の子育て家庭を対象に、子育ての悩みを相談する場や子ども・親同士の交流の場を設けているほか、育児サークルの活動支援も行っています。さらに、地域の皆さんが中心となり、振興センターなどを会場に、親子の交流の場を提供している

所もあります。

地域子育てセンターや、振興センターを会場とした子育て支援の活動は左表のとおりです。お気軽に問い合わせください。



花南振興センター「かなんこどもひろば」の様子。子どもたちの元気な声が響きます

地域子育て支援センター

施設名	問い合わせ、相談受付時間
こどもセンター	まなび学園内☎21-4388 月～日(祝日は除く)、8:30～17:15
若葉保育園 地域子育て支援センター	若葉保育園内☎23-6400 月～土(祝日は除く)、9:00～17:00
宮野目保育園 地域子育て支援センター	宮野目保育園内☎26-5655 月～土(祝日は除く)、9:00～17:00
大迫保育園 地域子育て支援センター	大迫保育園内☎48-3292 月～金(祝日は除く)、9:00～15:30
石鳥谷町 地域子育て支援センター	石鳥谷保育園内☎45-1004 月～金(祝日は除く)、9:00～17:00
土沢保育園 地域子育て支援センター	土沢保育園内☎42-3820 月～金(祝日は除く)、9:00～17:00

振興センターを会場とした子育て支援活動

名称	会場(問い合わせ)
かなんこどもひろば	花南振興センター(☎24-9547)
やさわこども広場	矢沢振興センター(☎23-2171)
ほのぼの子育てサロン	太田振興センター(☎28-2134)
ちびっこ広場	八幡振興センター(☎45-3535)